

「当科における成長ホルモン分泌刺激試験プロトコルの妥当性評価」へのご協力をお願い

■ 研究の対象

成長ホルモン分泌不全性低身長症の疑いがあり、2008年1月1日～2020年5月30日に15歳以下の小児で当科において成長ホルモン分泌刺激試験を受けた方

■ 研究の目的・方法

成長ホルモン分泌不全性低身長症の診断には、少なくとも2種類以上の成長ホルモン分泌刺激試験で成長ホルモンの分泌が低反応であることを確認するため、少なくとも2泊3日の入院期間が必要です。当科では、成長ホルモン分泌刺激試験の特性である偽性反応による成長ホルモン分泌不全性低身長症の診断見逃しを避けるために、3種類の負荷薬剤を用いた検査を基本とした3泊4日の入院プロトコルを実施しています。結果判定まで約1週間かかるため、結果的に2泊3日のみで成長ホルモン分泌不全性低身長症診断と診断し得る患者様が含まれている場合があります。成長ホルモン分泌刺激試験を実施した症例を遡って検討することで、検査前確率予測が可能となれば患者ごとに検査プラン・入院期間のオーダーメイドを行い子ども・保護者への負担軽減が期待されます。研究実施期間は2020年6月23日～2020年12月31日とします。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、血液検査結果、副作用等のカルテ情報

■ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記のご連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究について、患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

亀田総合病院

小児科 伊東 宏明

電話： 04-7092-2211(代)